

# 中小企業景況調査結果

【平成 30 年 1 月～3 月】

平成 30 年 4 月  
富士商工会議所調べ

## ◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。  
製造・建設・卸売・小売・サービス業の 5 産業、200 事業所(回収率 66.0%)を対象に、  
「平成 30 年 1 月～3 月」の 3 ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別  
にまとめた。

### DI (景気動向指数) とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、  
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…29 年 10 月～12 月    今期…30 年 1 月～3 月    来期…30 年 4 月～6 月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で表し、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

## ◇ 今期調査の概況 ◇

主要DI	前回調査		今期調査 (前年同期)		来期予測
業況	▲10.6	→	▲9.1 (▲3.7)	→	▲10.0
売上	▲0.7	→	0.0 (12.0)	↓	▲7.7
採算	▲23.4	→	▲23.6 (0.0)	→	▲25.0

今回調査では、全産業合計の業況・売上・採算 DI はともに横ばいとなった。しかし、産業別でみると、卸売業の採算 DI は 30.8 ポイント下降、小売業の採算 DI は 29.1 ポイント上昇と大きく変動している。また、小売業は業況・売上 DI ポイントも上昇しており、主要 DI が全て上昇したのは小売業のみである。

来期予測については、全産業合計の業況・採算 DI は横ばい、売上 DI は下降の予測となった。売上 DI が今期に比べ大きく下降を予測した産業は、建設業 23.1 ポイント、卸売業が 20.8 ポイントである。また、建設業は業況・採算 DI とも下降を予測しており、主要 DI の予測が全て下降したのは建設業のみである。

コメントにおいては、全産業共通して「人材不足」に関連した声が相変わらず多く、また「原料等の仕入価格上昇による利益減」の声も増えている。

経営上の問題点では、「人材不足」が製造業・建設業・サービス業で 1 位。また、サービス業は「設備の老朽化」も 1 位となっている。卸売業では「過当競争」が 1 位。小売業では「販売価格値上げ難」「商品、原材料仕入れ価格の上昇」が 1 位となった。

◇ 全産業の動き ◇

**〔業況のDI〕** 小売業、サービス業は上昇。建設業は横ばい。製造業、卸売業は下降。

来期は、製造業、小売業は上昇を予想。サービス業は横ばいを予想。建設業、卸売業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲2.8	↘	▲8.3 (12.5)	↗	0.0
建設業	11.6	→	15.4 (4.0)	↘	0.0
卸売業	0.0	↘	▲5.0 (▲4.7)	↘	▲20.0
小売業	▲30.5	↗	▲15.0 (▲19.0)	↗	0.0
サービス業	▲37.5	↗	▲31.1 (▲22.2)	→	▲31.0
全産業	▲10.6	→	▲9.1 (▲3.7)	→	▲10.0

**〔売上高のDI〕** 製造業、卸売業、小売業は上昇。建設業、サービス業は下降。

来期は、製造業、サービス業は横ばいを予想。建設業、卸売業、小売業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	0.0	↗	5.6 (22.5)	→	8.3
建設業	30.8	↘	19.3 (8.0)	↘	▲3.8
卸売業	0.0	↗	5.0 (19.1)	↘	▲15.8
小売業	▲26.1	↗	▲10.0 (14.3)	↘	▲20.0
サービス業	▲12.5	↘	▲20.7 (▲7.7)	→	▲17.3
全産業	▲0.7	→	0.0 (12.0)	↘	▲7.7

**〔採算のDI〕** 小売業、サービス業は上昇。製造業は横ばい。建設業、卸売業は下降。

来期は、製造業、卸売業は上昇を予想。建設業、小売業、サービス業は下降を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲25.0	→	▲22.2 (5.0)	↗	▲11.1
建設業	0.0	↘	▲7.7 (16.0)	↘	▲20.9
卸売業	▲4.2	↘	▲35.0 (9.5)	↗	▲25.0
小売業	▲59.1	↗	▲30.0 (0.0)	↘	▲35.0
サービス業	▲33.4	↗	▲27.6 (▲30.8)	↘	▲39.3
全産業	▲23.4	→	▲23.6 (0.0)	→	▲25.0

## ◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

### 【製 造 業】 景気ムード…【低 調】

『製紙』…「古紙の価格が高止まりのままである。」との声。「企業の誘致活動と同じように人の誘致も行ってもらいたい。全国的にみても富士市の人手不足は、より深刻である。」「引続き需要の縮小は続くと思われる。いかに需要に即した生産体制を確立できるかが重要だと思う。」とのコメント。

『紙加工』…「人材確保が難しい状況。」「夏頃より各メーカーは生産設備の増設が完了する為、過剰供給になる見通しである。今後の競争激化が懸念される。」との声。

『機械器具』…「前期と変わらずオリンピック需要が続いている。一部の製品は、大量生産が行われている。しかし、オリンピック需要後の減産が不安である。」「日本の製造業は、今後も生産は増加すると思われる。しかしながら、あらゆる物が値上がりしている。今後は、円高も含め国際競争力を維持出来るかが、日本の製造業のポイントになりそうだ。」とのコメント。「機械関連は一部の部品が入荷困難な状況が続いており、完成品の生産が滞っている。」「企業の格差が出ている。」との情報。自動車関連では「各社の生産は、昨年度と変わらず好調に推移。」「多少増加傾向と思われる。」との声。「普通トラックは、排ガス規制による駆け込み需要の反動が年を明けても続いた為、販売台数が5カ月連続で前年同月を割り込んだ。ただ、減少幅が昨年10月以来3カ月ぶりに1桁台となり、反動減の底打ち感が出てきている。」「国内向けトラックの生産量は減少気味だが、輸出用が増えており、全体的に多少の減産になりそうである。」とのコメント。「配電盤業界は、半年先まで明るいと思われる。」との情報。

『機械部品加工』…「工作機械等の部品は順調に推移している。」との声。「主要顧客の動向は、国内・北米・中国向けともに好調の様であるが、大企業と中小企業との格差が広がってきている様に感じる。」とのコメント。今後について「世界情勢に不安があり、先行き不透明である。」との声。

『繊維加工』…「5月ぐらいまで需要期であるが、原材料の値上げ・人件費の上昇により、採算は厳しくなっていくと思われる。」との声。「高校生までのスクールソックスを取り扱っているが、毎年2%減少している為、小ロット・短納期での対応が多くなった。今後の対策が課題である。」「消費者の低価格志向が続いている為、卸価格の値上げが実施できない。」とのコメント。

『印刷』…「全般的に良くない。年号が変わる来年に向い、景気が回復することに期待している。」との声。

『食品』…「商流・物流に大きな変化が起きており、対応できないメーカーは廃業または大幅な事業縮小を余儀なくされている。」「需要の低迷により、小ロット生産となり効率が悪くなっている。」「人材の確保が難しい。」との情報。「弊社で製造しているニンニク製品は必需品の為、悪くないと思う。」とのコメント。

『飲料』…「茶園面積の減少により、茶価がやや安定してきた。国内消費が減少傾向にある為、輸出にシフトしているが、GAP（農業生産工程管理）やハサップ（衛生管理手法）などの取得、ハラール認証等の問題で難航している。」「抹茶の消費増により、抹茶の需要は増える見込み。」との声。「急須でお茶を飲む人がかなり減少している。新しい商品づくりを考えたい。」とのコメント。

『その他』…「商店街は閑散としている。市民各自が愛郷精神を強く持ち、地元での消費を地味ながらコツコツ継続すれば少しでも活気づくのではないのでしょうか。」「行政が第3工業団地を造る方向で動いているが、小規模である。大規模開発と住宅団地を併設した開発が必要だと思う。」との声。

	好転%	不変%	悪化%	今期DI	来期予測
業 況	13.9	63.9	22.2	▲8.3	上 昇
売上高	30.6	44.4	25.0	5.6	横ばい
採 算	13.9	50.0	36.1	▲22.2	上 昇

## 〔建設業〕 景気ムード…【安定】

『総合建設』…「人材不足。」「相変わらず官庁工事の発注が少なく、発注されても少額なものが多い。また、民間工事も大型物件が減少傾向となっているように感じる。」「官民とも工事の発注が減少している。」「公共工事が少なく、業界全体の売上は減少していると思われる。さらに材料の値上がり等で見通しは暗い。」「会社の業績については、昨年度に比べて厳しい状況になっていくと予測している。」など厳しい声が多く寄せられた。

『建設関連』…「県東部に関しては、官民の仕事量は増えたが、単価は上がらないのが現状である。元請の受注価格が安い為だと思われ、低入札制度の見直しが必要だと思う。」とのコメント。「需要はあるが、技能工等の労働者が不足している為、売上が伸びない。人材不足を補うべく募集をしても応募がない為、現状維持に腐心している。」との声。「業種により景況感が異なるが、概ね良好に感じている。しかし、景気には波が付きものであり、今後は厳しい状況になると思われる。」とのコメント。「看板・サイン関係は、年度末ということもあり、受注・製作とも好調である。しかし、仕入価格が原油関係の値上げなどから少しずつ上昇している中、販売価格は値下げ要請がある。」との声。「ますます価格競争が激化しており、厳しい。」「市の仕事が少な過ぎる。今後の市立病院の移転やインフラ工事に期待している。」「新しい工業団地の誘致に期待が高まる。」「工業団地を造る計画があると聞いたが、至急造成し、企業誘致の努力をするべきだと思う。」とのコメント。設備工事では「住宅着工数の減少により、住宅設備の売上は減少する見込みである。」との声。

『一般住宅』…「建築に携わる職人が高齢化しており、後を継ぐ技術者も減少している。」「需要が減少している中、業者過多による過当競争で厳しい。」「需要が芳しくない様に思う。」との声。一方来期については「新規の仕事が出てきている。」との情報。

『土木関連』…「今期は予想以上に民間需要があり、生産・販売ともに増加したが、販売価格の値上げが難しい。来期以降の値上げが大きな課題であり、実現できないと財務状況は厳しくなる。」「大型物件が少なくなるのではないかと思います。」との声。造園関係では、「植栽工事の需要が低迷し、大径木の伐採や強剪定の施工が公共・民間共に増加している。」「マツクイムシの被害が依然として多く見受けられ、伐採処分工事が増加している。」との情報。「公共工事の発注が少なく、低価格競争が激しいので、来期の見通しは良くない。」「富士市新環境クリーンセンター工事が進められているので、今後の造園工事の増加が期待される。」とのコメント。

『その他』…「富士市は他の市町村と比較した場合、工場立地条件は極めて良いと思うので、行政主導で企業誘致を積極的に行ってもらいたい。」「吉永北地区では以前から獣害があった為、4月1日～5月31日までの出没状況調査を富士市で実施することになった。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	30.8	53.8	15.4	15.4	下 降
売上高	38.5	42.3	19.2	19.3	下 降
採 算	23.1	46.2	30.8	▲7.7	下 降

## 〔卸売業〕 景気ムード…【安定】

『機械器具』…「機器の買い替え需要が少し増えたように感じる。」との声。「同業各社、忙しく好調である。一部、部品メーカー（全国区の上場企業）の納期が大幅に遅延しており、苦戦している製造業も多く、解消見込みも先になりそうである。」との情報。「製紙業界に関しては、複数の新工場の建設もあり、堅調である。」「メーカーの値上げ要請が相次いでおり、新規開拓のみならず、商圏確保においても価格競争が激しくなっていくと思われる。」とのコメント。「来期は、例年通りやや下降する見込み。」との声。その他「インターネット販売で全国展開している大手の物流倉庫が身近にできた。得意先の注文もそこ

の商品番号で頂くことが本当に増えている。利益にも影響があり、今後の商流が変わる可能性についても危惧している。」とのコメント。

『自動車部品』…「2,3月 は年間の中で最も車検台数が集中するが、補修部品の売上は伸びない。自動車の構造が変わり、補修需要が年々減少していくことは、全国共通の問題である。」との声。「人口が減少しつつある今日、全国の子保有台数も減りつつある。ハイブリッドカー、EV車が増えてくると部品需要が減少することは間違いない。将来、自動車部品の専門店が存続できるか疑問である。」とのコメント。

『紙』…「食品関係のパッケージは堅調な動き。衣料品関係は厳しい。」「原材料値上げが、今後どのようなか不透明である。」との声。

『製紙原料』…「中国の環境規制の影響で、古紙の裾物が動かなく大変である。」「中国の環境規制により、ミックス古紙（雑誌古紙）の輸出は本年1月より完全にストップした。その影響が徐々に国内市況の悪化に繋がってきている。」とのコメント。「中国の古紙輸入規制は本格的なものになっており、今後の国内需給に与える影響は非常に大きい。」「家庭紙の原料は減少傾向で、期待できない。」「大手メーカーが家庭紙に参入してくる為、原料の動きが気になる。」との声。「富士宮市で4月より始まる雑紙回収は、非常にゆるやかな品質基準となっており、混乱が予想される。」とのコメント。

『再生資源』…「鉄・非鉄屑とも価格面では高値であるが、地元経済の不況により発生が少ない。」「世界的な鉄鋼不況も底を打ち、回復傾向である。鉄スクラップも鉄鋼製品の回復により、価格が上昇している。」との声。今後について「米大統領が鉄鋼等の追加関税を導入した影響がどうなるかである。」「米大統領が鉄鋼等の追加関税を導入したことにより、スクラップ価格が低迷すると思われる。」とのコメント。

『工業薬品』…「原材料の価格上昇分を販売価格へ転嫁することが見込めない為、苦境が訪れると思われる。」「製紙業界全般に、原料価格（古紙・燃料）の上昇により利益が低下している。」との声。今後について「原油・ナフサの動向により左右される。」とのコメント。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	20.0	55.0	25.0	▲5.0	下 降
売上高	40.0	25.0	35.0	5.0	下 降
採 算	15.0	35.0	50.0	▲35.0	上 昇

## 【小 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『衣料品』…「過当競争により益々悪化していくと思われる。」との声。呉服は「受注生産が増加した為、流通在庫が極端に減少している。」「問屋等の中間業者が廃業し始めている。」との情報。「各業界の生産性、販売等少しずつ回復に向かっていると思うが、呉服関係は低迷が続くと思われる。」とのコメント。

『各種食料品』…「過当競争。」「原材料の値上げが懸念される。」との声。茶は「新茶の遅れが心配である。」「静岡茶の愛飲県条例が小中学校から一般企業、家庭に広まる事を願う。」「来期は、新茶の需要期を迎える。より良いお茶を提供できるよう努めたい。」とのコメント。

『日用品・雑貨』…「良いとは言えない。」との声。「当社が取引している各問屋は全て、人員削減により常に時間に追われており、落ち着いてコミュニケーションが取れず、常に情報が不足してしまう。数カ月に一度でも店舗訪問してもらっていた頃が懐かしい。」「日本郵便から4月以降の送料値上げの通達があった。覚悟はしていたが、条件によっては送料が倍になる為、ネット販売での送料の設定を変更する予定だが、顧客離れが心配である。」とのコメント。

『自動車』…「国内乗用車メーカー4社の1月世界生産実績が過去最高だったが、国内では、生産・販売共にマイナスと発表されている。整備需要においては、地域差及び工場規模もあるが、依然と厳しい。」とのコメント。

『自動車部品』…「大手との差が大き過ぎる。」との声。

『自転車』…「一般自転車やスポーツタイプの自転車などの販売台数は減少傾向であるが、全国的に電

動自転車の販売台数が上昇している。静岡県、特に東部は、全国的にみても電動自転車の需要が高まっており、メーカーは、静岡限定のテレビCMを作製するなど、重点地域に選ばれている。」との情報。

『機械器具』…「業界の動向は上昇していると思われる。」と明るい声。

『その他』…「商店街に市外・海外からの買い物客が少しずつ増えているように思える。今後、商店街としても、観光対策も考えていこうと思う。」「6月の吉原祇園祭当日（日曜日）にJRのさわやかウォーキングが企画されている。内容は、吉原駅から吉原本町通りのお祭りを見ながらウォーキングを楽しむものである。最近、注目されているお祭りで、大きな観光資源だと思う。」「市民ひろば跡地にマンション建設、南町公園南側に新しい公園の工事が始まった。完成は先の話だが、吉原にとって好ましい話である。」とのコメント。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	15.0	55.0	30.0	▲15.0	上 昇
売上高	30.0	30.0	40.0	▲10.0	下 降
採 算	10.0	50.0	40.0	▲30.0	下 降

## 【サービス業】 景気ムード…【低 調】

『飲食』…「喫茶店の動向は、安価なコーヒーや家庭でも質の良いコーヒーが飲める為、下降気味になると思われる。」との声。「過当競争などにより売上を維持することは大変であるが、一番の課題は人材不足である。」「大手で割引合戦をしている様に思える。小さい店は、しっかり定価で販売し、信用をつけることが次に繋がると考える。」とのコメント。「売上は上昇しているが、人件費の高騰や運送費の値上がり仕入価格に影響してきている。」「人件費を上げては応募がなく、人手不足が深刻になっている。」との声。

『旅館・ホテル』…「新規ホテルの参入により、廃業する施設が増えている。」との情報。

『旅行業』…「景気が良いという話はない。横ばいか少々下がり気味だと思われる。」との声。

『衣類等クリーニング』…「石油高の為、原材料の値上げが続いている。」「事業所向け市場の減少は止まりつつある。家庭向け市場は減少が続いている。来期は、資材・薬品等の値上げの連絡が入っており、4月以降はさらに厳しくなる見込み。」とのコメント。

『運輸・倉庫』…「中東の状況が不安である。燃料も少し値上がりした。」との声。「若年層のドライバーが相変わらず少ない。若い人材の確保が急務である。」とのコメント。

『不動産』…「空き店舗となっても、次の入居者がおり好循環な状況。新しい感覚のお店が出来るのは刺激となり、良い影響になる。」との声。「相変わらず分譲地は増えており、販売価格は低下傾向である。街中では、公示価格が下げ止まったようだが、郊外では今後も下がり続けると思われる。」「土地、空き家所有者の売却意識が高まっている。」「相続等における土地処分案件が増えている。」との情報。「一般住宅用の宅地分譲は各地で増加している。工業用地の問い合わせはあるが、まとまった土地が確保できない。」との声。「青葉台・広見・田子の浦・富士南小学校区の宅地分譲計画が大幅に増えているが、それに伴う需要があるか心配している。」とのコメント。

『広告』…「求人広告の需要は高いが、紙媒体からネット媒体へ移行しており、単価が低下している状態。」との声。

『自動車学校』…「販売価格の低下、自動運転、少子高齢化などにより、今後さらに厳しくなると思われる。」とのコメント。

『専門サービス』…社会保険労務士事務所は「過当競争が激しい。」との声。税理士事務所は「中小・零細企業の廃業等によりマーケットが縮小しており、今後も厳しい状況が想定される。」「中小・零細企業の事業承継が順調に進まなければ、厳しい状況はさらに続くと思われる。」とのコメント。デザイン業では「多様性を持った企業はニーズがある。特化した技術を持った企業は地元より外にアプローチしている。」との情報。イベント関係では「1・2月は例年通り低調であったが、3月に入り順調に推移している。」

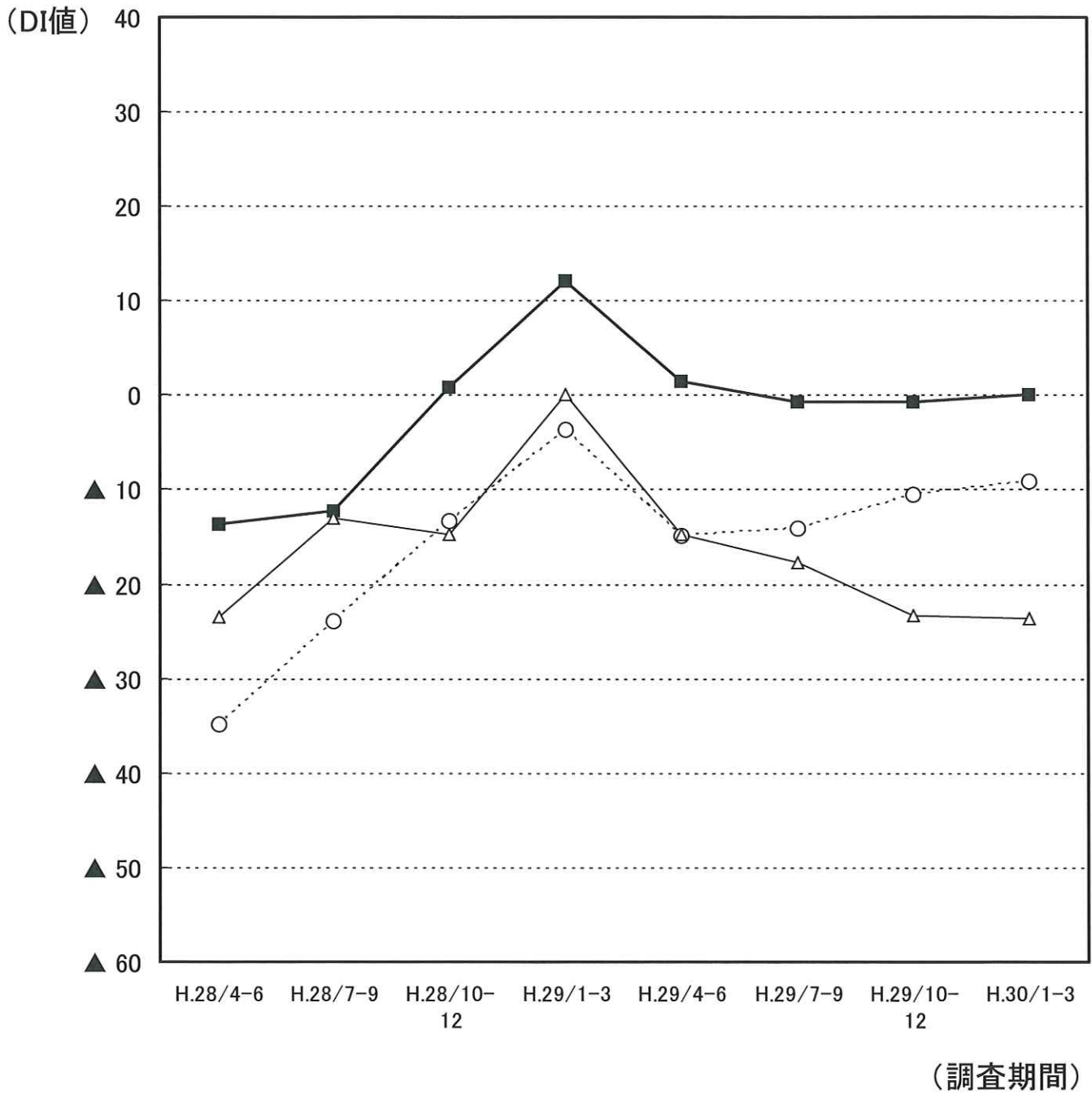
との声。

『その他』…「岳南地域はラーメン店の新規進出やホテルの建設が多く見受けられるが、人材不足は否めないようだ。」「2月の軽トラ市は、人出があり良く売れた。何かイベントがあれば人は出てくるが、その他は閑散としている。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	10.3	48.3	41.4	▲31.1	横ばい
売上高	17.2	44.8	37.9	▲20.7	横ばい
採 算	13.8	44.8	41.4	▲27.6	下 降

# 全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上    ○ 業況    △ 採算



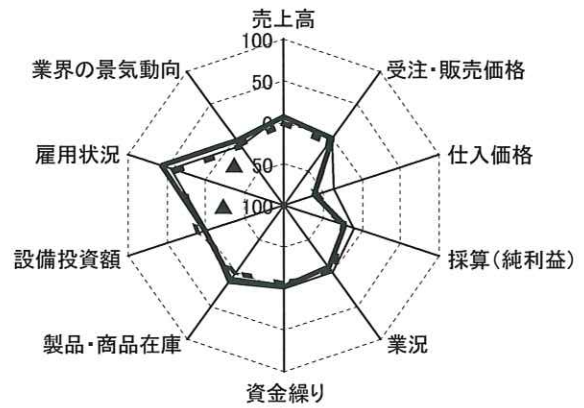


# レーダーチャート

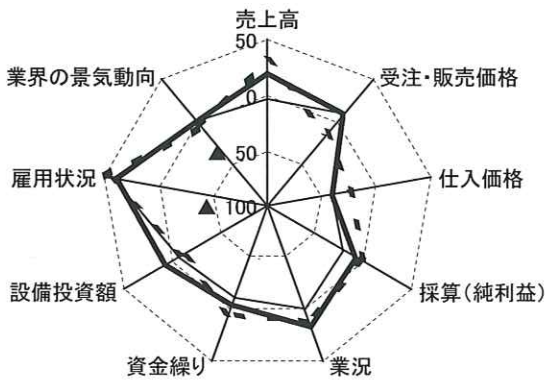
売上高	増加・減少
受注・販売	上昇・下降
仕入価格	下降・上昇
採算	好転・悪化
業況	好転・悪化
資金繰り	好転・悪化
製品・商品在庫	減少・増加
設備投資額	増加・減少
雇用状況	不足・過剰
業界の景気動向	好転・悪化

前年同期比	———
来期予測	———
前回調査時	- - - - -

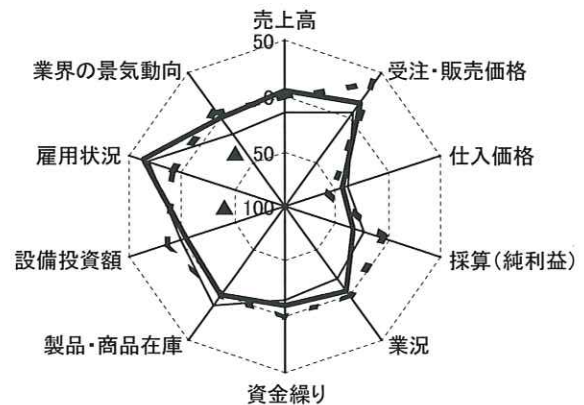
## 【製造業】



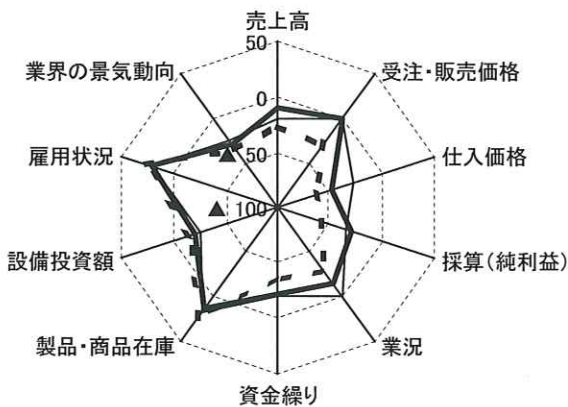
## 【建設業】



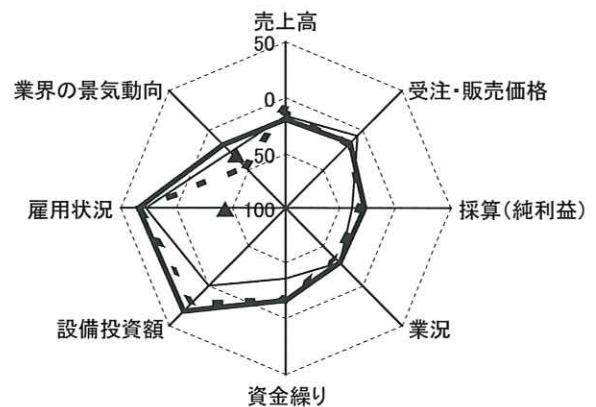
## 【卸売業】



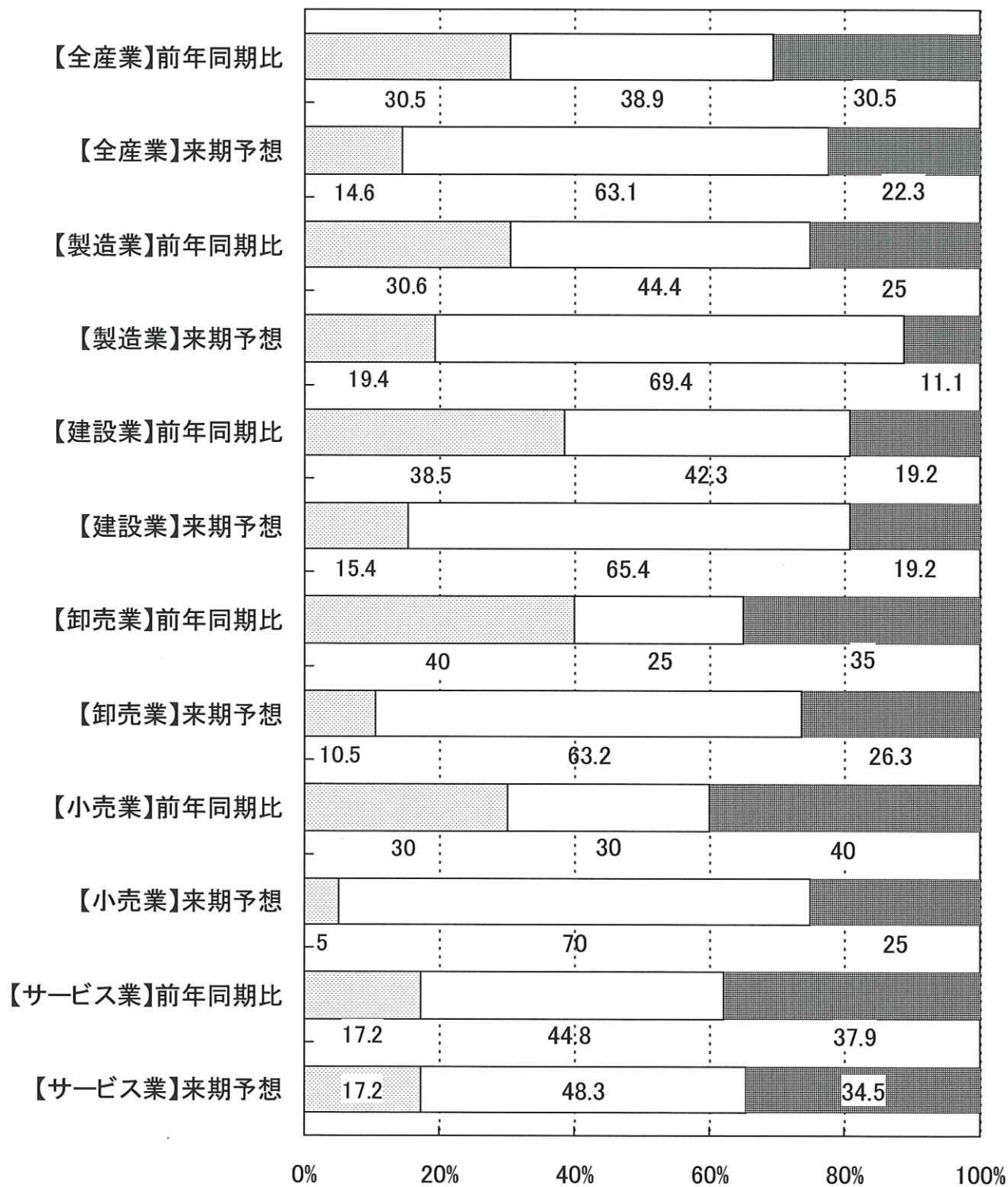
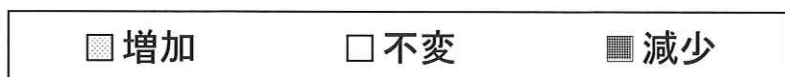
## 【小売業】



## 【サービス業】



# 売上高の前年同期比と来期予測



◇ 経営上の問題点 ◇

産業別	上位回答項目
製造業	<p>1 位 人材不足</p> <p>2 位 商品、原材料仕入れ価格の上昇／設備老朽化</p> <p>3 位 販売価格値上げ難</p> <p>その他 人員不足</p>
建設業	<p>1 位 人材不足</p> <p>2 位 過当競争</p> <p>3 位 人員不足</p> <p>その他 官公需停滞／人件費高騰</p>
卸売業	<p>1 位 過当競争</p> <p>2 位 人材不足</p> <p>3 位 販売価格値上げ難／売上減に伴う利益減／商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>その他 人員不足</p>
小売業	<p>1 位 販売価格値上げ難／商品、原材料仕入れ価格の上昇</p> <p>2 位 その他の需要の低迷／売上減に伴う利益減</p> <p>3 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>その他 販売価格の低下／人件費高騰／人員不足</p>
サービス業	<p>1 位 人材不足／設備老朽化</p> <p>2 位 販売価格値上げ難</p> <p>3 位 過当競争／人件費高騰／売上減に伴う利益減／人員不足</p> <p>その他 売上、利益減による資金圧迫</p>